

それ行け!

地区社協活動紹介

地区社協

Vol.8



はるやま 春山地区

人 口 ● 6,583人
高齢化率 ● 30.72%
地区社協設立 ● 昭和53年6月1日

三つの「わ」で地域福祉を支える春山地区
春山地区社協では、一人暮らし高齢者の孤立を防ぎ、潤いと楽しさのある余生を送っていただくために、毎年4月から11月まで月1回公民館にお招きして、旬の食材による心のこもった手作りの料理によるおもてなしをし、好評を博しております。また、この食事サービスを利用してデイホームを開く他、小学校児童との交流会も実施して、楽しいひと時を過ごしていただいております。おかげさまで近年は参加者も増えてきて、関係者は嬉しい悲鳴をあげています。

こうした社協の福祉活動を支えているのは、婦人会、民生児童委員、福祉委員、ボランティア、春山小学校、公民館それぞれの理解と協力の賜物です。



春山地区には、しなやか社会のキーワード「三つの「わ」」(「和」、「話」、「輪」)が地域文化として根付いております。

あさひ 旭地区

人 口 ● 5,594人
高齢化率 ● 34.27%
地区社協設立 ● 昭和52年10月20日

子どものときから「福祉の心」を育ててもらおうと、旭地区社協では毎年4年生児童を対象に、旭小学校、旭小学校PTAの共催のもと「楽しいボランティア教室」を開催しています。体育館や駅東大通りの歩道を利用しての車いす体験や、車いす生活をされている方を講師に招き、バスケット交流や、お話を聞いて自分たちの生活や住んでいるまちについて、改めて考え直す機会をつくっています。次世代を担う子どもたちの成長に少しでもお役に立てれば良いと考えています。



やしろにし 社西地区

人 口 ● 5,997人
高齢化率 ● 29.21%
地区社協設立 ● 平成3年6月22日

社西地区社協では、10数年前から、高齢者が元気で楽しく余暇を過ごすために、公民館の横に置3枚ほどの土地を16区画借り、社西住民菜園「さっくり畑」と称し、3年を使用期間として貸し出しています。事業が始まった当初は畑づくりの難しさに試行錯誤の繰り返しでしたが、継続は力なり。獲れた野菜をお互いに自慢しあいながら、和気あいあいと野菜づくりを楽しんでいます。小さな事業でも続けることが大切で、それがやがて大きな輪となることを信じて日々活動を続けています。他にも年1回男の食彩(料理教室)、自治会型デイホームでの月2回の男性だけのスティックリングなども軌道に乗ってきています。今後もさらなる希望を持ち、活動を続けていきたいと思っています。



おかほ 岡保地区

人 口 ● 2,517人
高齢化率 ● 31.39%
地区社協設立 ● 昭和38年10月1日

岡保地区社協では、「ふれあい福祉まつり」を毎年10月に岡保小学校で、「おかほふるさとまつり」と共催で開催しています。まつりではスタンプラリーを実施しており、今回は地域の福祉にちなんだクイズ(地区の高齢化率など)や、車いす体験、視覚障害者体験に挑戦してもらいました。子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方が参加しているのが特徴で、地区の小学校の協力をいただいたり、スタンプラリーに賞品を用意するなど、少しでも多くの方に参加してもらえよう工夫しています。その他にも、地元にある福祉施設の利用者が作成した品物を販売するなど、まつりを通して地域全体の交流を図っています。今後も、岡保地区の特徴を生かした取り組みを、さらなる工夫をこらしながら行っていきたいと思っています。



地区社協とは…

市内49の小学校区ごとに設置され、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりのために、地域住民が自らの手で地域の特性に応じた地域福祉活動を展開している団体です。

(各地区のデータ 2月1日現在)



かわい 河合地区

人 口 ● 4,167人
高齢化率 ● 28.25%
地区社協設立 ● 昭和55年6月10日



河合地区社協では、おおむね65歳以上の方を対象に春と秋に「健康ウォーキング」を開催しています。ウォーキングコースは3kmと5kmの2コースを設け、自分の体力に応じて参加できるようにしており、年々参加者が増え、毎回60名近くの参加があります。今年度は、春には初めて電車を利用して三田荒磯遊歩道に、秋には北湯湖に出かけました。電車の利用は遠足のように大いに盛り上がり楽しかったと好評でした。

素敵な景色の中で、みんなで自然を感じながらゆったりと過ごすことは、心身のリフレッシュとともに、ご近所同士のつながりをいっそう深めています。

スタッフも、安全確保に頑張ってくれており、今後もいろいろなコースを探しながら、みんなで楽しく健康に、活動を続けていきたいと思っています。

しみずにし 清水西地区

人 口 ● 3,067人
高齢化率 ● 22.30%
地区社協設立 ● 平成22年4月1日

清水西地区社協では、地域の高齢者に、健康で生きがいをもった生活をしていただくこと、毎年65歳以上の方を対象に「健康づくり・生きがいづくり講座」を開催しています。今年の講座は、臨床心理士の岡本克己氏による講演「これからの人生を楽しむために!」や、西包括支援センターによる健康法の指導、演劇鑑賞など、盛りだくさんの内容で行われました。この日いちばんのお楽しみの演劇を披露したのは、平均年齢68歳のメンバーで構成された劇団「幸福者」。アドリブを交えた楽しい演劇に、参加者のみなさんは大笑い。同年代が元気に活動している姿を見て、「元気をもらった」と、満足気な笑顔でお帰りになりました。



今回は約80名と、多くの方に参加していただきました。これからも、誰でも参加しやすく、楽しみながら交流できるような企画を考えていきたいと思っています。

しみずきた 清水北地区

人 口 ● 2,674人
高齢化率 ● 26.51%
地区社協設立 ● 平成22年4月1日



清水北地区社協では、今年度、地区の民生児童委員と福祉委員が協力して、それぞれの活動を紹介するカードは皆さんがポケットティッシュを地区内の全戸に配布しました。「自分たちの活動や顔、名前を地域に知ってもらいたい」という思いから、清水西、東、南地区と合わせて初めて行われたこの活動。一人暮らし高齢者や災害時要援護者など、気になる方のお宅には担当地区の民生児童委員と福祉委員が直接訪問し、名前と連絡先が書かれたカードを手渡しました。受け取った人のなかには「あなたが民生委員だったの!」福祉委員ってなに!という人もいて、民生児童委員・福祉委員をPRする良い機会になりました。

この活動後、福祉委員を通じて民生児童委員に情報が寄せられることが多くなりました。地域の中でお互いを知り合うことが、よりスムーズな見守り体制につながると思うので、今後もこういった活動を続けていきたいと思っています。

かみもんじゅ 上文殊地区

人 口 ● 1,954人
高齢化率 ● 34.95%
地区社協設立 ● 平成3年7月24日

上文殊地区社協では、デイホーム「ほのぼのサロン」を毎月各町内の集会所で実施しています。体操や脳トレの他に、いろいろな創作活動を取り入れたり、外部講師を招いて学習会をしたり、演芸ボランティアの歌や踊りを鑑賞したりと内容を工夫しています。ティータイムや会食をしながらのおしゃべりも楽しそうで、多くの方が参加してくださっています。

また、10月と11月にはすかつとランド九頭竜で「合同ほのぼのサロン」を実施しました。初めに認知症サポーター養成講座を開き、認知症の症状・対応の仕方・予防などについて学んでいただきました。地域での寄り添いや見守りが大事だと感じていただけたようです。その後は、温泉に入ったり演芸を見たり飲談したりして、交流を深めることができました。

これからも地域の方が楽しく元気にデイホームに参加していただけるよう、努力していきたいと思っています。

